

カリキュラム

機構施設名： 和歌山職業能力開発促進センター
 実施機関名： パナソニックエレクトリックワークス創研(株)

(A)生産管理	生産現場の問題解決
生産・開発計画	

コースのねらい	生産管理を理解し、生産現場の問題を発見、解決できる知識、技能を習得する。
---------	--------------------------------------

	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
講義 内容	1 生産活動の基本	■生産活動の基本 (1)製造業全体のしくみ ・ものづくり・生産管理面からみた製造業務 (2)生産活動での改善の仕組み ・製造のムダ・5S活動の目的と進め方 (3)製造人として基本的な心得 ・「報連相」の重要性 ・「次工程はお客様」考え方と浸透 ・「安全第一」の考え方と浸透 (4)職場のコミュニケーション G演習:「職場のバトロール」評価での気づき	1.5
	2 現状分析とムダの発見	■ムダに気づき5S活動課題を知る (1)ムダの気づきと訓練 ・7つのムダ視点からの気づき ・危険源(リスク)からの気づき (2)現状分析とムダの気づき ・稼働分析、連合分析、ライン分析 ・改善に対する3つの考え方 (3)職場の取り上げるべき5S改善課題 ・改善すべき課題・問題点を話し合う G演習:「5S課題気づき」話し合いでの気づき(前半)	2.0
	3 生産現場の改善	■5S活動の進め方 (1)5S全員活動の進め方 ・5S活動の重要ポイント ・5S活動直接的効果 ■5S活動の確認 (2)整理・整頓・清掃・清潔・しつけ (3)本物の5S活動 ※5Sは仕事である、時間内活動が基本 G演習:参加者決意表明 ■ムダに気づき5S活動課題を知る (4)職場の5S課題・問題の気づき(後半) G演習:(1)「職場のムダ関連」話し合い (2)「生産性阻害(ムダ)」特性要因図作成 (3)5S活動改善課題設定 ■訓練の振り返り (1)今日学んだことの振り返りと確認	2.5
		合計時間	6.0

カリキュラム作成のポイント
生産活動の基本知識を習得し、現場におけるムダに気づく演習を進めながら生産現場の問題解決を進める、手法を身に付ける。

訓練に使用する機器等	
●機器・ソフトウェア(受講者用)	●機器・ソフトウェア(講師用・その他)
<ul style="list-style-type: none"> ・筆記用具 ・電卓orスマホ 	<ul style="list-style-type: none"> ・講師用PC(持参) ・書画カメラ、スピーカー、ポストイット、マーカー、模造紙、その他備品(必要時は弊社準備) ・ホワイトボード、マーカー(赤・黒)、プロジェクタ、スクリーン
●使用するテキスト	●その他
<ul style="list-style-type: none"> ・自作テキスト(配布資料含む) 	
利用事業主に用意をを求める機器等	備考
<ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボード、マーカー(赤・黒)、プロジェクタ、スクリーン 	